

平成19年6月3日発行
企画・発行／富山県知事政策室広報課
富山市新総曲輪1丁目7番地
TEL.076-431-3131 (県民相談電話)
FAX.076-444-3300 (県民相談ファックス)
編集協力／チューエツ

○「県広報とやま」に関するご連絡、ご質問は
〒930-8501 (住所記入不要) 県庁広報課あて
TEL 076-444-3134 FAX 076-444-3478
E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください。
<http://www.pref.toyama.jp/form.html>
広報課ホームページ
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/index.html

「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧できます。

contents

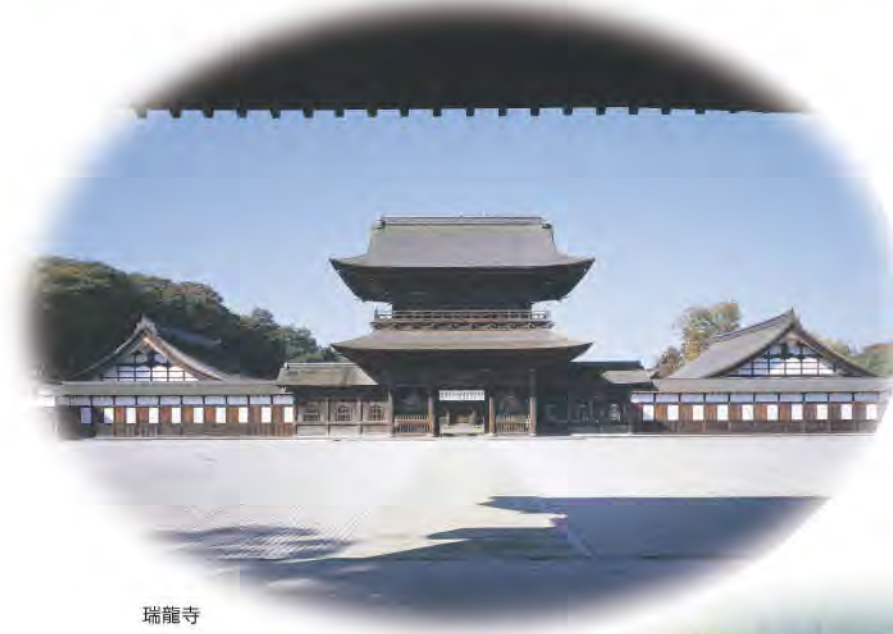
特集	農業の担い手を育てよう	②
クロスアップとやま	男女共同参画計画	③
世界文化遺産登録を目指して		①
とやま目安箱		①
とやまのごっこお	山菜おこわ	③
県政の動き		④
どこ行く? 何する? お出かけ情報		④
テレビラジオ・新聞チェックガイド	県政番組のお知らせ	④
県政クイズ		④

「富山のたからもの」を 「世界のたからもの」に。

「近世高岡の文化遺産群」

「立山黒部地域の文化遺産群」の

世界文化遺産登録を目指して



瑞龍寺



布橋灌頂会

お知らせ
世界文化遺産セミナー
「立山・黒部の可能性を探る」
日時:平成19年6月24日(日)
13:30~16:30
場所:タワー111(インテックビル)
3階スカイホール
※「近世高岡の文化遺産群」の
セミナーは11月開催予定

富山の魅力再発見へ

この登録運動をきっかけに、県民の皆さんが、富山県の大切な財産を見つめ直し、今まで気づかなかった文化的資産を再発見して、それを守り、次代につなげていこうという機運を高めたいと考えています。

これらは、まさしく日本が育んできた歴史と文化を象徴しており、世界に誇りうる人類全体のための貴重な文化的資産としてアピールしていきます。

砂防事業や電源開発など、厳しい自然と闘いながら、自然を治め、自然の力を貴重な資源として活用してきた輝かしい歴史も有しています。

また、「立山黒部地域の文化遺産群」は、立山曼荼羅や「昨年復活した「布橋灌頂会」など、山岳信仰を伝える優れた文化遺産に加え、砂防事業や電源開発など、厳しい自然と闘いながら、自然を治め、自然の力を貴重な資源として活用してきた輝かしい歴史も有しています。

また、「立山黒部地域の文化遺産群」は、立山曼荼羅や「昨年復活した「布橋灌頂会」など、山岳信仰を伝える優れた文化遺産に加え、砂防事業や電源開発など、厳しい自然と闘いながら、自然を治め、自然の力を貴重な資源として活用してきた輝かしい歴史も有しています。

また、「立山黒部地域の文化遺産群」は、立山曼荼羅や「昨年復活した「布橋灌頂会」など、山岳信仰を伝える優れた文化遺産に加え、砂防事業や電源開発など、厳しい自然と闘いながら、自然を治め、自然の力を貴重な資源として活用してきた輝かしい歴史も有しています。

と高岡市が「近世高岡の文化遺産群」を、県と富山市、黒部市、上市町及び立山町が「立山黒部地域の文化遺産群」を世界文化遺産の候補として提案するために取り組んでいます。

世界文化遺産登録及びセミナーのお問い合わせは
県庁地域振興課 TEL 076-444-3949

元気とやまキーワード 「世界遺産」
世界遺産は、「世界遺産条約」に基づいて、各条約締結国から推薦された顕著な普遍的価値を有する文化遺産と自然遺産を、ユネスコの世界遺産委員会が「世界遺産一覧表」に登録するものです。富山県では「五箇山合掌造り集落」が平成7年に登録されています。

この件のお問い合わせは
県庁医務課
TEL 076-444-3218

皆様のご意見を
お待ちしております。
「とやま目安箱(知事への意見・提言)」係まで
はがき・手紙 〒930-8501 県庁広報課
FAX 076-444-3478
インターネット
<http://www.pref.toyama.jp/form.html>



A 全国的な傾向として若手の医師が大都市圏に集中し、地方で医師の不足が深刻な問題となっています。県内でも、特に公的病院等では、小児科、産科などの診療科において医師不足の状況となっています。

Q 最近、よく目にするのが医師不足を伝えるニュース。子どもを持つ親にとって、小児科のお医者さんが不足しているというのは切実な問題です。富山県は大丈夫ですか?

A 全国的な傾向として若手の医師が大都市圏に集中し、地方で医師の不足が深刻な問題となっています。県内でも、特に公的病院等では、小児科、産科などの診療科において医師不足の状況となっています。

このため県では国に対し、大都市圏と地方圏の格差を解消するよう働きかけています。さらに県独自の対策として、自治医科大学での医師の養成や医学部への修学資金の貸与、初期臨床研修医や後期研修医などの若手医師を確保するための首都圏等でのPR、魅力ある研修システムの構築などに取り組んでいます。

また、近年、医師に占める若い女性の割合が大きくなってきています。女性医師が産産・育児を迎えても、仕事をやめずに働き続けられるよう、育児休業終了後の職場復帰のための研修や授乳室の整備などに支援を行っています。

とやま目安箱

知事が
お答えします!

特集 農業の担い手を育てよう

意欲ある若い力を育て、元気な農業と魅力ある農村へ

農業は、皆さんの「いのち」と「暮らし」を支える重要な産業です。県では、認定農業者※1や集落営農※2など意欲ある担い手経営体の育成、経営感覚にあふれた人材の育成や女性の新たな起業活動への支援など幅広い担い手の確保・育成に努めています。



特産のチューリップ農家でも若い力が発揮されています(入善町)

おしえて! 富山県の農業構造の現状は?

兼業農家の割合は90.2%で全国2位。農業就業人口は年々減少し、65歳以上が6割を超えて高齢化が進む一方、新規就農者数は年間30名程度で推移しています。

おしえて! これからの農業の課題は?

将来にわたって農産物の生産を支えるためには、認定農業者や集落営農組織などを育成し、これらの担い手経営体と兼業農家が地域で適切な役割分担を発揮する体制づくり、新規就農者や女性の新たな起業活動への支援など、幅広い担い手の確保・育成が必要です。

また、県の耕地面積に対する担い手経営体が占める割合は現在3割程度(平成17年)です。県農業、農村基本計画の目標年度である平成27年度には6割以上となるよう、市町村、農協など関係機関と一体となって地域を担う意欲ある経営体の育成を進めていきます。

おしえて! 主な取組みの内容は?

今年4月からの国の新しい経営安定対策(品目横断的経営安定対策)※3にも対応しながら、「元気な農業・農村の創造」に取り組んでいきます。

認定農業者・集落営農の支援

今後の国の施策の対象が認定農業者や集落営農組織等の担い手経営体に重点化・集中化されます。このため、農地集積や施設機械整備支援、集落営農組織の法人化支援などを通して、国の施策の対象となる担い手経営体をより多く育成します。

農業ニューリーダーの育成

企業的な農業経営の展開には、経営管理能力が必要です。このため、若手農業者などを対象に農業版ビジネススクールを



開講。経営の複合化や法人化などの経営戦略について、自ら判断できる経営感覚にあふれた経営者の育成を図ります。

農業ニューリーダー育成講座

対象：若手農業者など
講師：中小企業診断士、経営コンサルタント、先進的農業者など
内容：入門編のアグリカレッジコースは講義方式で、経営者としての心構え、経営計画の立案や経営改善の手法などを学び、実践編のビジネススクールコースはゼミ方式で経営分析・改善や流通・販売管理などについて研修します。

がんばる女性農業者の支援

地域農産物を活用した農産加工や朝市など農村女性の起業活動は、地産地消や食育の推進においても重要な役割を果たしてきています。しかし、その組織の多くは、経営規模が零細で資本力に乏しいこと、新たな事業等の発想はあるものの具体的実現のためのノウハウに乏しいことなどの課題があります。そこで、農業者の6割を占める

女性の能力をより一層発揮してもらうため、起業リーダーの資質向上のための講座を開講し、経営者としての心構え、マーケティング、経営管理の実務を学んでいただきます。

農村女性パワーアップ講座

対象：農村女性起業家、起業組織のリーダーなど
講師：先進女性起業家や中小企業診断士など
内容：経営者としての心構え、マーケティング、経営管理の実務などについて、講義・演習方式で研修します。

農村女性パワーアップ講座

対象：農村女性起業家、起業組織のリーダーなど

講師：先進女性起業家や中小企業診断士など

内容：経営者としての心構え、マーケティング、経営管理の実務などについて、講義・演習方式で研修します。



女性農業者も農業の第一線で頑張っています(朝日町)

農地・水・環境保全向上活動の支援

地域ぐるみで取り組む水路の江ざらいや小修繕、花の植栽など共同活動や農薬、化学肥料の低減など環境に配慮した先進的な営農活動を推進するため、その活動に必要な経費を助成します。



元気農業事典

※1【認定農業者】

農業経営基盤強化促進法に基づいて、効率的で安定した農業経営を目指す「農業経営改善計画」を市町村に提出し認定された、意欲ある農業者及び法人

※2【集落営農】

集落を単位として農業生産の一部または全部を共同で実施する生産活動

※3【国の新しい経営安定対策(品目横断的経営安定対策)】

一定要件を満たす担い手(面積要件:認定農業者4ha以上、一定の集落営農20ha以上)を対象に米、麦、大豆について①諸外国との生産条件を是正するための直接支払を導入、②収量や価格など販売収入の変動を緩和するための対策を実施、などにより農業経営を支援するもの。

インタビュー

農村女性パワーで、特産品を開発しています。

(農業組合法人 味彩おおやま 代表者 山尾悦子さん)

農村女性19名で「農事組合法人 味彩おおやま」を平成14年に設立しました。旧大山町の特産であるミョウガを使った「みょうが寿し」をはじめとして「恐竜クッキー」、「こおりもち」、「モロヘイヤせんべい」、「金糸瓜の粕漬」など、女性ならではの工夫とアイデアで商品開発に取り組んでいます。

毎日、地域のお母さんたちが真心込めて一つひとつ手作りしていますが、商品を買ったお客さんから「おいしかった」と言われると、とてもうれしく励みとなっています。今年度は、メンバーが県の「農村女性パワーアップ講座」を受講しますが、この講座で学んだ経営ノウハウを今後の発展につなげていきたいと思っています。



味彩おおやまの皆さん(前列左から6人目が山尾さん)



バラエティーに富んだ農産加工品の数々

お問い合わせは:
味彩おおやま特産品販売所
富山市田島42 TEL 076-483-1417

ともに築き輝く 男女共同参画社会の実現を目指して



「男だから」「女だから」と、職場や家庭、地域で、無意識に役割を分けていることはありませんか？
性差にとらわれず、それぞれの個性や能力を十分に認め合い、お互いに力を合わせることでできる社会の実現を目指して、
皆さんも、この機会に「男女共同参画」の視点に立ったライフスタイルを考えてみませんか。

女性の社会進出が進展 でも、一方では・・・

県では、平成13年に「富山県男女共同参画推進条例」を制定し、「富山県民男女共同参画計画」を進めてきました。その結果、女性の社会進出は着実に進展。女性の就業率や平均勤続年数は、現在全国トップクラスです。

しかし、富山県では女性の管理職比率が極めて低いほか、(※)ドメスティック・バイオレンス(DV)に関する相談件数も増加しています。

計画策定から5年が経過し、国において「男女共同参画基本計画(第2次)」(平成17年)が策定されたことから、県でも「元氣とやま創造計画」(平成19年)にあわせ計画の見直しを行い、第2次計画を策定しました。

※ドメスティック・バイオレンス(DV)とは？
配偶者やパートナーなど親密な関係にある(あった)相手からの暴力

新しい計画の内容

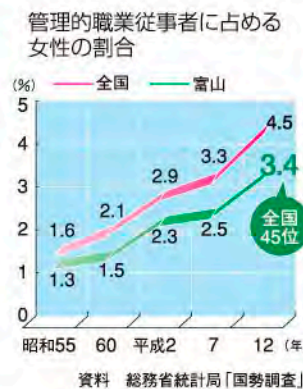
5つの基本目標を柱に12の重点課題を設け、各施策に取り組みます(左図参照)。今回は、その重点課題を3つのポイントに絞ってご紹介します。

●体系図 富山県民男女共同参画計画(第2次)

基本目標	重点課題
I 政策・方針決定の場への女性の参画の拡大	1 女性の登用促進
	2 女性の人材育成と情報提供
II 男女がともに支えあうライフスタイルの実現	3 とともに支えあう家庭生活の構築
	4 女性のチャレンジ支援
	5 いきいきと働くことができる環境の整備
	6 地域における男女共同参画の推進
III 男女共同参画の視点に立った意識啓発	7 性別による固定的役割分担意識の解消
	8 男女共同参画に関する教育・学習の推進
IV 女性の健康支援と人権の尊重	9 生涯を通じた女性の健康支援
	10 男女の人権の尊重
	11 配偶者・パートナー等からの暴力の根絶
V 男女共同参画社会のための総合推進体制づくり	12 推進体制の強化・充実

ポイント① 職場慣行を見直して 女性に活躍の場を!

県職員の女性管理職比率(平成18年・5.5%)や県審議会への女性参画(平成18年・32.4%)など、公的部門における女性の登用は着実に進展していますが、民間も合わせた女性管理職の登用は進んでいません。その背景には「製造業のウエイトが高い」「男性中心の職場慣行」などが影響していることから、優良事例の情報提供や出前講座などによる普及啓発を行い、男女が共にいきいきと働ける環境づくりに努めます。



○主な取組み

・「女性が輝く元氣企業とやま賞」を創設。女性の登用・活用や能力開発に積極的に取り組む企業を表彰(6/23サンフォルテフェスティバルにおいて表彰予定)

○目標値 女性の管理職比率
 <H12>3.4% (全国は4.5%) → <H27>5%

ポイント② もっともっと チャレンジできる機会を!

現在、第二子出産を機に約7割の女性が離職している状況にあります。

少子・高齢化が進展するなか、男女が共に支えあうライフスタイルを実現するために、子育てや介護などに関する支援体制の充実を図ることが必要です。起業、再就職キャリアアップなどにチャレンジしたい女性が、いつでもどこでも、誰でもチャレンジできるような支援します。

○主な取組み

・とやま起業未来塾など起業に関するセミナーの開催
 ・女性の再就職・キャリアアップ等に関する相談窓口の充実

○目標値
 女性の就業率(30~34歳)
 <H12>66.5% → <H27>現況以上

農村女性起業件数
 <H17>139件 → <H27>1800件

ポイント③ 女性を暴力から守る 社会づくりを!

相談件数は増加傾向(平成17年・1493件 → 平成18年・2313件)にあるDV。その根絶に向けて、暴力を許さない社会づくりや相談保護体制の整備などをさらに推し進めます。

○主な取組み

・暴力を許さない社会の実現に向けた教育啓発活動の推進
 ・女性相談センターの移転改築

○目標値

DV防止法の周知状況(法律の名前や内容を知っている人の割合)
 <H14>66.2% → <H27>100%

お知らせ

6月23日~29日は「男女共同参画週間」です。男性も女性もお互いを尊重しあう「男女共同参画社会」の実現のため、それぞれの職場や家庭、地域で取組みを進めましょう。

【協力】黒部市食生活改善推進協議会

とやまのごっつお 山菜おこわ



ふき、わらび、たけのこなど、山菜のなかでも手に入りやすい素材を使ったおこわは、味も香りもおいしい一品です。その味と香りを引き出す決め手になるのは、蒸し鍋の湯に入れる茶碗一杯分ほどの塩。山菜だけでなく、にんじんやきのこを混ぜると彩りが豊かになり、おもてなし料理にもぴったりです。

●材料・分量(4人分)

- もち米・・・3カップ
- 山菜各種・・・120g
(ふき・わらび・たけのこなど)
- ※ゆでてアク抜きしたもの
にんじん、しいたけなど・・・適宜
- 煮汁 水・・・1カップ
- しょうゆ・・・大さじ1
- みりん・・・大さじ1
- 塩・・・小さじ1/3

●作り方 1人分/約447kcal

- ①もち米は前日に洗い、たっぷりの水に浸して一晩おく。
- ②①をザルにあげ、水を切る(約30分)。
- ③山菜を煮て冷まし、ザルで煮汁をきっておく。
- ④塩湯を入れた蒸し器で②を1時間ほど蒸す。
- ⑤40分ほどしたら火を弱め、おたま一杯分の塩湯をおこわにサッと振る(2回ほど)。
- ⑥蒸し上がったたら火を止め、③を混ぜる。
- ⑦10分ほど蒸らし、器に盛る。

ポイント

- ・塩が山菜のうまみを引き出すので、煮る時のだしは不要。
- ・「塩湯」は、なめて「塩辛い!」と感じる程度を目安に。
- ・炊き込む時は、もち米2合に米0.5合を混ぜるとよい。

県政の動き

今後の予定

- 6/ 9 狩猟文化シンポジウム (13:30～ ボルフアートとやま)
- 10 エコライフ・アクト大会 (13:00～ タワー111)
- 12 県議会定例会(～27日)
- 16 県立大学オープンキャンパス (9:00～ 県立大学)
- 23 サンフォルテフェスティバル2007 (県民共生センター「サンフォルテ」) (～24日)



男女共同参画社会の実現を目指し、様々な分野で活動しているグループ・団体・個人がともに学び合い、交流することを目的としてフェスティバルを開催します。

- 24 世界文化資産セミナー (13:30～ タワー111)

最近の動き

- 4/ 9 石川県能登半島地震災害応援派遣に係る派遣者報告及び出発激励式(写真①)



①被災支援のため、これまで派遣されていた職員の活動報告とこれから派遣される職員の出発激励式が行われた。

- 11 県議会議員選挙当選証書付与式
- 12 知事の現場ミーティング(写真②)



②石井知事自らが現場に赴いて職員を激励し、県政の状況を伝えるとともに現場視察等を通じて意見交換を行った。

- 13 富山駅周辺景観デザイン検討委員会
- 16 地域産業活性化協議会
- 17 第1回県立大学短期大学のあり方検討会
- 18 第1回県女性相談センター整備懇談会
- 19 文化芸術懇談会(写真③)



③「文化力で地域から日本を元気にする」をテーマに、青木文化庁長官と県内文化関係者によるシンポジウムが行われた。

- 21 知事のタウンミーティング(富山市)
- 22 富山駅周辺景観デザインシンポジウム
- 27 環水公園等賑わいづくり会議
- 5/ 2 春の叙勲伝達式
- 2 県議会臨時会(写真④)



④改選後初の議会が開かれ、議長に仲 外吉雄氏、副議長に梶 敬信氏が選出された。

- 14 県地方分権推進会議
- 15 近代美術館魅力向上検討委員会
- 16 とやまブランド推進本部会議
- 23 とやま森の祭典
- 27 知事のタウンミーティング(高岡市)

どこ行く?

何する?

お出かけ情報

富山県立近代美術館 富山市西中野1-16-12 TEL 076-421-7111
 開館:9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館:月曜、祝日の翌日
 交通:富山駅(cic横)から富山ミュージアムバス(城南ルート)で約10分(無料)
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042.htm>

ルオーの版画

愛と救いの願いを込めた250点の版画を通して、世代や人種、宗教を超える普遍のメッセージを紹介します。

- 期間:～6月10日(日)
- 料金:一般500円(400円)、大学生400円(300円)、小中高生無料 ※ ()内は20名以上の団体料金

アートの世界へようこそ 美術のおくりもの

「おくりもの」というテーマを通じて、近代美術の魅力が発見できる展覧会です。

- 期間:6月23日(土)～8月26日(日)
- 料金:一般900円(700円)、大学生650円(500円)、小中高生無料 ※ ()内は20名以上の団体料金



ビエール＝オーギュスト・ルノワール「子どもとリンゴ」制作年不詳 AIGスター生命保険株式会社蔵

富山県水墨美術館 富山市五福777 TEL 076-431-3719

開館:9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館:月曜、祝日の翌日
 交通:富山駅(cic横)から富山ミュージアムバス(呉羽山ルート)で約6分(無料)
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm>

国際公募: 墨画トリエンナーレ富山2007

韓国・中国・日本など墨を共通して使用する文化圏から広く作品を公募し、入賞入選作を展示します。

- 期間:6月22日(金)～8月19日(日)
- 料金:一般900円(700円)、大学生650円(500円)、小中高生無料 ※ ()内は20名以上の団体料金

前回優秀賞 王 迎春[山村新娘]



富山県中央植物園 富山市婦中町下轡田42 TEL 076-466-4187

開園:9:00～17:00(入園は16:30まで) 休園:木曜
 料金:入園料/一般・大学生600円(480円)、小中高生無料
 ※ ()内は20名以上の団体料金
 交通:富山駅より地鉄バス(6番乗場)で約20分、中央植物園口下車徒歩10分
<http://www.bgtym.org/f-top.htm>

私の植物写真展(サンライツホール)

植物写真撮影講習会の作品と一般から募集した作品を展示します。
 ●期間:6月8日(金)～7月4日(水)

キョチクの七夕飾り(サンライツホール)

世界で最も大きくなる竹(キョチク)に子供たちが飾り付けをして展示します。
 ●期間:7月6日(金)～11日(水)

ゲッカビジン観賞

ゲッカビジンの開花に合わせて2日間、夜間開園します。
 ●期間:6月下旬～7月予定(開花日2日間) 19:00～21:30(入園は21:00まで)

日曜植物案内(毎月第1・2日曜)

見頃の植物や話題の植物について解説します。
 ●期間:6月3日(日)・10日(日)、7月1日(日)・8日(日) 13:30～14:30(当日受付)



植物園オリエンテーリング(毎月第3日曜)

植物クイズを解きながら、楽しく園内をめぐるります。
 ●期間:6月17日(日)・7月15日(日) 10:00～11:00(当日受付)

TV / Radio Newspaper

テレビ・ラジオ・新聞チェックガイド 県政番組のお知らせ

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ

[毎週土曜] 9:30～9:45
 6月 9日 美しい海を守るために
 16日 食育のススム
 23日 世界遺産を目指して①
 30日 世界遺産を目指して②

元気とやま情報チャンネル 富山テレビ

[毎週日曜] 9:00～9:25
 6月10日 エコライフ
 17日 水の王国とやま
 24日 がんばる商店街

富山メモランタ チューリップテレビ

[毎週火曜] 21:55～21:58
 県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

元気とやま情報スクエア FMとやま

[毎週月曜～金曜] 10:50～10:55、(再) 17:30～17:35(最終金曜除く)
 [毎月最終金曜] 10:50～11:00、(再) 17:30～17:40
 ※毎月最終金曜は「知事の県政ざっくばらん」として、知事が最新の話題について語ります。

県からのお知らせ コミュニティFM各局

◎富山シティエフエム ◎ラジオたかおか ◎ラジオ・ミュージック ◎エフエムとなみ [毎週月曜朝、毎週金曜夕方] 各2分半

新聞広報 県からのお知らせ

6月2日(土)、16日(土)、23日(土)、30日(土)の朝刊各紙に掲載予定
 ※2日(土)、30日(土)は、一部の朝刊には掲載しません。

富山県ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ

Quiz

○の中に言葉を入れてください。ヒントは特集ページ(2P)にあります。

県では、元気な農業と魅力ある農村を目指して、「農業の○○○」を育成しています。

正解者の中から10名の方に、「みょうが寿し(10個入り)」をプレゼントします。

- 応募方法…はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。
- 宛先…〒930-8501(住所記入不要) 県庁広報課「県広報とやま6月号クイズ係」
- 締切…6月15日(金)(必着)



当選の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

優待券



ご利用期間 平成19年10月15日～平成19年9月30日

「子育て応援団」は、家族のふれあいの機会を増やし、企業や地域社会全体で子育て家庭を応援します。

これは、毎月第3日曜日(とやま県民家庭の日)から始まる1週間を中心に、18歳未満の子ども連れの家族が協賛店の優待サービスを受けられることができます。この機会にぜひ、ご家族そろってお出かけください。